



伝統と今を大切に

堅川中だより

第7号

令和6年11月1日
墨田区立堅川中学校
発行 校長 稲垣 吉実

伝統と今を大切に！地域に開かれた学校を目指して！

～コミュニティ・スクールとして～

校長 稲垣 吉実

11月に入りました。10月15日(火)からは後期が始まり、やっと秋らしくなって、生徒の制服も徐々に冬服へと移行してきました。本日は、二大行事の文化祭がありました。今年は、舞台と合唱の部が11月1日に、展示の部が2月7日～17日に行われます。やっと合唱コンクールが文化祭に帰ってきました。どの学年も練習から精一杯取り組み、本番も緊張しながらも大変素晴らしいパフォーマンスを見せてくれました。保護者、地域の皆様には十分な見学場所を提供できず申し訳ありませんでしたが、来年度はトリフォニーホールでの開催を予定していますので、是非楽しみにしてください。

さて、今月は改めて「伝統と今を大切に！地域に開かれた学校を目指して！」という話をしたいと思います。私が4月に堅中に着任以来、常を感じていることです。そして改めて感じたことが、この10月にも2度ほどありました。1つは、10月12日(土)に行われた、堅中フェスティバルです。PTAの主催ですが、生徒はもちろん教員や地域の方々など大勢の方々の協力の下、ゲームコーナーや飲食ブースそして部活動紹介などで、本当に多くの方々が参加して大いに盛り上がりました。今後も地域に根ざした取り組みとしてさらに発展させたいと思います。もう一つは、10月26日(土)に本校の目の前の北斎通り(墨田区亀沢)で5年ぶりに行われた「弘前ねふた」が運行される「第19回北斎祭り」です。「すみだ北斎美術館」が建つ緑町公園(亀沢2)は江戸時代、弘前藩津軽家の上屋敷だったことから青森県弘前市と連携し「弘前ねふた」を運行しているそうです。このような伝統ある地域と、より一層連携し堅中の特色ある教育に繋げていかなくてはと強く感じました。

そして、なんと言っても、10月から本校が、墨田区立中学校でコミュニティ・スクールのモデル校になったことが、より一層地域に開かれた学校を目指す要因です。コミュニティ・スクールとは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5に規定する保護者地域住民等が、一定の権限を持って学校運営に参画する仕組みである「学校運営協議会」をおく学校のことで、「学校運営協議会」では、保護者や地域住民の意見を学校に反映させ、地域・保護者・学校が一体となって、より良い学校教育活動と特色ある学校づくりを推進し、地域に信頼される学校運営を行うことが求められています。今後もより一層、チーム堅中を盛り上げて、地域に貢献できる生徒の育成のために頑張っていきたいと思います。

1 1月の予定

1	金	文化祭
2	土	東京都教育の日
3	日	文化の日
4	月	文化の日の振替休日
5	火	
6	水	職員会議
7	木	定期考査1週間前、諸活動停止期間開始(3年)
8	金	安全指導 定期考査1週間前、諸活動停止期間開始(1, 2年)
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	定例・代表委員会
14	木	定期考査1日目(3年のみ)
15	金	定期考査2日目
16	土	定期考査3日目
17	日	
18	月	生徒朝礼 実力テスト(3)
19	火	
20	水	幼保小中一貫教育第2回協議会 NO 残業 DAY
21	木	
22	金	避難訓練
23	土	勤労感謝の日
24	日	ESAT→J
25	月	TGG(2)
26	火	
27	水	区中研一斉研究授業
28	木	
29	金	
30	土	

※ () 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

【1 学年】「野外体験」

10月3日(木)4日(金)に、野外体験学習で千葉県へ行ってきました。中学生になって初めての宿泊行事に期待と不安を抱いていたようですが、自然豊かな中で普段なかなかできない体験、班員や室員と協力して過ごすことを通してたくさんのことを学んだ様子でした。生徒たちの感想を少しずつですが紹介します。

- 誰かに作ってもらった料理や、採ってきてもらった野菜も、もちろん美味しいけれど、自分で採った野菜や、苦労して作った料理は特別に美味しく、そんな苦労して作られる野菜や料理への感謝の気持ちが高まりました。
- 自分は今回の野外体験で初めて班長という立場でみんなをまとめました。自分は集団の中で生きるにはどうしたらいいか、より深く学ぶ事が出来ました。
- 班でカレーを作りました。水を入れすぎてスープカレーになっちゃったけど、みんなと作った料理なので、美味しく食べました。
- 小学校までは、しおりを読まなくても先生が指示をしてくれました。だけど中学生になり自主的に行動し、自分で考えることが増えてきましたが、そのかわりに自由な時間や遊びの時間ができて、とても充実した野外体験でした。
- 飯盒炊爨では火をおこすのが大変だった。家だったらボタン1つでできることが、こんなに難しいんだと思った。
- 野外体験で印象に残ったことは、自然のにおいです。自然のにおいをかいだら、とても気持ちがリラックスできました。土とか木とか葉っぱとかのにおいが1つになって…めっちゃ良かったので、自然のにおいが私は一番好きです。
- マザー牧場では動物たちの性格が見えたから楽しかったです。山羊や羊などがいました。動物たちを見ていると命のありがたみを知ることができました。



【2 学年】都内めぐり

たくさんの準備をし、コースを決め、電車を調べました。みんなの気持ちを汲みながらも行程に無理のない食事の場所を探し、決定してきました。

今回の学年行事「都内めぐり」のテーマは、「**東京を知り、楽しむこと**」と「**ルールをしっかりと守れる学年になるということ**」でした。当日は、仲間と協力して行動し、自分たちの力で計画を遂行することができ、充実した都内巡りとなりました。

都内巡りスローガン
Enjoy TOKYO
～ルールを守り信頼される学年になろう～



事前指導の様子
電車内のマナーを
実演中!!



実行委員会
スローガン決め



【3 学年】

＜定期考査まであと1週間です＞

大きな学校行事である文化祭が終わり、これから3年生は試練の時を迎えます。いよいよ受験体制への切り替えです。自分の進路を決めなければならない時がきました。今、自分が一番力を注がなければいけないことは何かを考えて生活していきましょう。周りに流されることなく、目標達成のため、精一杯努力していくことが大切です。常に自分の行動が結果につながるということを念頭において過ごしてほしいと思います。自身の課題を自分から率先して解決へ導こうとする姿を期待します。本番でベストを尽くせるよう、頑張りましょう！

【5 組】「東京都陸上競技大会」

10月8日の「墨田区連合陸上大会」は、国立競技場で白熱した大会となり、5組生徒も熱い声援を送っていました。その2日後の10月10日に、駒沢オリンピック公園陸上競技場で、「第68回東京都特別支援学校・特別支援学級陸上競技大会」が行われました。5組生徒は、100・200・1500m走、走り幅跳び、400mリレーなどに出場し、体育の授業で練習を重ねてきた成果を存分に発揮しました。大会新記録での優勝、入賞、自己新記録など満足のいく結果となった人もいれば、満足のいく結果ではなかった人もいましたが、努力を重ねてきて、全力で走ったり跳んだりしている姿は、熱い声援や感動につながりました。



【食育】「ピンチをチャンスに変えて」

10月に1年生の家庭科の調理実習中、包丁の刃に触れて少し切って指に血がにじんだ生徒がいました。出血はすぐ止まりましたが、その後は使い捨てのゴム手袋をしてもらいました。その場は時間がなかったので理由は伝えませんでした。いい機会なので実習後にその生徒に理由を説明しました。

すべての人の皮膚には細菌がいて、傷や出血により増殖し、食中毒の原因となりえる。それを防ぐために手袋を付けてもらった、と伝えるとよくわかったようでした。

目に見えない細菌や、効果がすぐに確認できない手洗いのことなどはなかなか知識や習慣として浸透しにくいかもしれません。身に起きたことは記憶によく残り、きっと今後同様のことがあると思い返してくれることと思います。また、友人や家族などにも注意喚起してくれるのではないかと思います。